

実務経験証明書の記入要領

1) 実務経験

グラウト工事に関する「実務経験」とは、以下の工事を施工に従事した経験をいいます。

① 薬液注入工事

地盤を対象とする薬液注入工事

<対象外工事>

コンクリート補修工事や防水工事など地盤以外の各種構造物に対する薬液注入工事は含みません。

② 高圧噴射攪拌工事

地盤を対象とするジェットグラウト工事

<対象外工事>

深層混合処理等の機械攪拌式(ジェット併用を含む)、各種ドレーン、コンパクション工事等は含みません。

③ ボーリンググラウチング工事

ダム工事、トンネル工事や地下構造物工事における岩盤を対象としたボーリンググラウチング工事及び土堰堤・堤防等の軟弱地盤や空隙(トンネル背面への注入を含む)を対象としたボーリンググラウチング工事

<対象外工事>

地質調査やさく井等のボーリングのみの工事は含みません。

なお、施工に直接関わらない以下の経験は含みません。

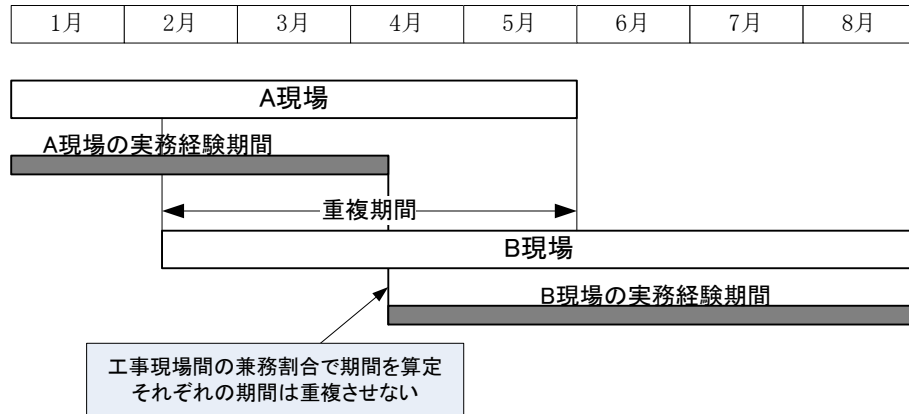
- ・ 設計、計画、検討、見積、営業の経験
- ・ 研究所・学校・訓練所等における研究、教育及び指導等の経験
- ・ 事務系の仕事に関する経験

2) 職長としての実務経験

現場の作業員を直接に指揮監督する立場であり、職長のほか、現場代理人、主任技術者、施工監督、工事主任、作業主任等の職種の実務経験を含みます。

3) 実務経験年数の考え方

実務経験の年数(期間)は、当該工事に従事した期間であり、工事の契約工期ではありません。工期が重複する複数の工事を短期間で移動を繰り返す場合は、以下のとおり従事割合に応じて工事毎の期間を算定してください。



複数の現場での従事期間が重複している場合の経験期間の算定

4) 証明者について

証明者欄には現在の勤務先の代表者等の署名・押印（公印）が必要です。

以前に勤めていた会社の経験を含めて、現在の会社の証明で結構です。

- ・受講者自身が代表者の場合

受講者自身が代表者の場合は、証明欄に代表者である旨を明記し、自分で証明して証明者との関係には「本人」と記入してください。

実務経験証明書の作成にあたっての注意

- 1) 記入は、必ず申込者自身が行ってください。
- 2) 記入は、必ず黒のペン又はボールペン(鉛筆は不可)を用い、欄内に当該事項を字をくずさず書いてください。
- 3) 実務経験年数は申込日の前月末現在で記入してください
- 4) 実務経験証明書欄の記載を訂正する場合、訂正箇所証明者の訂正印が必要です。
- 5) 実務経験証明書等は、一度提出したあとは、実務経験年数と経験内容の加筆、訂正はできません。

登録グラウト基幹技能者講習 実務経験証明書 (とび・土工・コンクリート工事業)

別記様式 2

下記のグラウト工事にかかる受講申請者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

証明者: 会社名 株式会社日本グラウト協会 (会社印)
 所在地 東京都文京区後楽1-1-2
 職名 代表取締役社長
 氏名 日本太郎 (代表者印)

証明者の範囲:

証明者は今の事業主が前の職場の経験の部分も含めて証明することもできます。

受講申込日 → 令和 年 月 日

①実務経験に該当する否か、記入上の注意事項を参照の上該当するもののみを記入してください。
 ②工事名等は、事業主と元請間における正式工事名でなく、所属会社と元請間の契約工事名でも結構です。
 ③工事名で薬液注入等対象となる工事内容が不明の場合、〇〇△△工事の内薬液注入工事という表記で内容が判別できるように記載してください。

①職長の立場で従事した経歴の場合「職長」と記入してください。
 ②職長と認められる立場は、職長の他、現場代理人、主任技術者、施工監督、工事主任、作業主任等です。

作業内容は、「現場代理人」、「主任(監理)技術者」、「現場監督」、「現場施工」のいずれかを記入してください。

受講申請者の氏名	後 楽 二 郎	証明者との関係	社長と社員
受講申請者の住所	東京都文京区〇〇1-2-3△△ハイソ□□号室	生年月日	昭和27年10月5日
受講申請者電話番号	0 1 2 - 3 4 5 - 6 7 8 9	使用者の名称	

①証明者欄には勤務先の代表者等の署名・押印(公印)が必要です。以前に勤めていた会社の経験も含めて、現在の会社の証明で結構です。
 ②受講者自身が代表者の場合は、証明欄に代表者である旨を明記し、自分で証明して証明者との関係欄には「本人」と記入してください。

期間は、〇〇年△△月→〇〇・△△と記入してください

職長欄	実務経験の内容	作業内容	実務経験年数 (年ヶ月)
	〇〇下水道築造工事の内薬液注入工事	現場施工	S60年10月～S61年8月(0・1)
	△△駅改築工事の内地盤改良工事	現場施工	H4年9月～H5年11月(1・2)
職 長	××ダム建設工事の内基礎処理グラウチング工事	現場監督	H7年10月～H11年9月(4・0)
			年 月 ～ 年 月 (・)

実務経験10年以上
 職長経験3年以上が必要です。条件を満足していることを確認してください。

備考: 実務経験年数については、グラウト工事に関して10年以上、かつ、そのうち職長経験年数については3年以上が、受講資格の一つの要件となります。	合計: 10年6月 (うち職長経験4年6月)
--	---------------------------

誓約欄

この証明事項に事実と相違がある場合には合格を取り消されても異存のないことを誓約いたします。

氏名 後 楽 二 郎 (印)

自筆で署名・押印してください。